岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　その他河川　檜垣川　通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	№2	調査位置	広島県呉市清水	北緯	34° 14′ 11.0820″
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年11月28日～ 令和5年11月28日	東経	132° 34′ 35.9038″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 139.95m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：シブヤ TSA-165 / エンジン：ホンダ EU26ij / ポンプ：丸山 MS157

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位/測定月日
1	138.15	1.80		礫混り砂	褐							0[0](100)	φ2～5mm位の角礫が4割位混じる。 マトリックスはマサ土。 GL-0.8～0.9m付近礫主体となる。	11/29 2.55
2				花崗岩	明褐～明灰	w4	h2	C	Ⅳ	c	CL	30[57](100)	GL-1.8～2.6m付近、変質を受けており砂礫化している区間がある。 ただしGL-2.3～2.5m付近は硬質なコアとなっている。 GL-4.3～4.7m付近、鉛直方向と水平方向の亀裂が多くなり、コアは短柱状を呈する。	
3						w2	h1	B	Ⅱ	a	CM	25[74](100)		
4						w3		C	Ⅲ	c	CL	30[40](100)		
5	134.95	5.00				w2		B	Ⅲ	a	CM			
6														
7														
8														
9														
10														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	4		
	1.45	300		
50以上	2.00	50	70	
	2.07	70		
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		

原位置試験：

室内試験：

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
11/28	200	66	D/DB	0	700	1	W3/3	3
	480		打込み	0	0	0	W1/0	0
	40		打込み/DB					
	100		打込み/DI	0	1000	1	W3/3	3
	100					1	W3/3	0
	100					1	W3/3	3